

うめきた2期区域 まちづくりの方針 概要

「うめきた2期区域」の約16haを対象に、当区域の都市計画や平成27年度以降に開発事業者を決定するために実施が予定されている「(仮称)うめきた2期区域開発事業者募集」におけるまちづくりの基本的な考え方をまとめたもの

- ✓ 基本計画策定(H16)後の都市開発を取り巻く状況の変化に対応した新しいまちづくりのプロセスをめざすことから、計画策定の段階から、民間の独創的なアイデアやノウハウを求める民間提案募集を実施、提案者との「対話」を行いつつ、検討会でまちづくりの方針を検討
- ✓ これら一連のプロセスは、公民連携によるこれからのまちづくりの可能性を広げるモデルに

1. 2期区域のまちづくりの目標

- ✓ 国際競争力を高め、世界の都市をリードするまちづくりが重要なテーマ
- ✓ 「ランドデザイン・大阪」「国家戦略特区提案」において、関西の発展を牽引するリーディングプロジェクト
- ✓ 西日本最大のターミナル地区、関西の中核拠点のポテンシャル

都市づくりのパラダイムを超えた新しい未来のまちのあり方の提案
「みどり」

世界中から資本、人材等を集積、新たな国際競争力をもたらす
「イノベーション」

○都市や人間と自然、環境との新しい関係性を構築、比類なき魅力を備え、都市の文化となる新しいまちづくりの空間の概念
○世界水準の都市空間を持つ国際都市に引き上げるトリガーとなり、広域的な都市構造に波及、これからのまちづくりを先導

○関西圏の中心に位置、広域的な交通ネットワークで拠点や都市と結ばれる優れた立地ポテンシャルを活かして、関西のイノベーション創出の総力を束ね、連携の結節点となるような拠点をめざす

2期区域のまちづくりの目標

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

世界の人々を惹きつける
比類なき魅力を備えた「みどり」

まち全体を包み込む「みどり」がここにしかない新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す源となり、世界の人々を惹きつける。

新たな国際競争力を獲得し、世界を
リードする「イノベーション」の拠点

世界からの人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで新たな国際競争力を獲得し、我が国の成長エンジンとして世界をリードする「イノベーション」の拠点となる。

- 「みどり」が人間の創造性を刺激する環境を創出し、世界からその環境を求める人材や技術、資本を集積させる。
- 「みどり」が創り出す魅力ある空間と、関西の力を結集させた中核機能とが融合し、世界中から訪れる人々に新たな知の交流を提供する。

2. 比類なき魅力を備えた「みどり」のあり方

「みどり」の役割

- ①まちの基盤となり、次代に受け継ぐ資産となる「みどり」
- ②使いこなしによって多様な価値を生み出す「みどり」
- ③成長しながら、周辺地域へ進出、波及効果を生み出す「みどり」

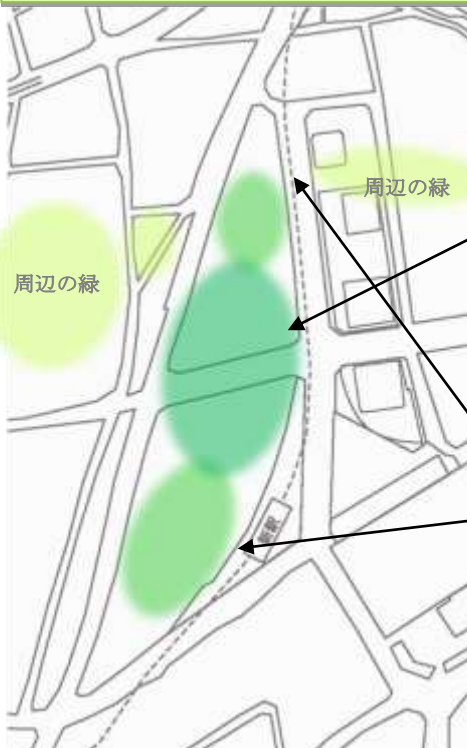
「みどり」の空間形成

- ①斬新で質の高い景観を創る「みどり」
- ②メッセージ性のある「みどり」
- ③「みどり」の成長など時間軸を組み込んだデザイン

「みどり」の配置・規模

「みどり」の定義
「すべての人々に開かれ、誰もが自由にアクセスでき、そこで人間の活動が豊かに展開される緑豊かなオープンスペース」

「みどり」を2期区域全体に展開し、概ね8ha(水面等も含む)を確保



①と②の「みどり」が一体となり、まち全体を包み込む

①地上のまとまった「みどり」
接地性のあるまとまった「みどり」で、恒久性、持続性を持つ

2期区域のシンボルとして地区中央部に概ね4haを確保

- ・重要な視点場であるJR大阪駅からの眺望の確保や視覚的な一体感
- ・隣接する周辺の緑との連続性
- ・大規模災害時への対応における優位性等

②建築物と一体化し
地上と連続する「みどり」

地上のまとまった「みどり」と連続し、円滑にアクセスすることができる、建築物と一体化した「みどり」で、「みどり」の新たな可能性を提示する

民間の創意工夫により地上部や低層建築物の上部において確保

3. 「みどり」と融合し価値を創造・発信する「イノベーション」～導入する都市機能～

①新産業創出 (例:健康・医療、環境・エネルギー等)
成長著しい分野で関西の産業集積の強み・ポテンシャルを最大限発揮

②国際集客・交流 (例:MICE・文化創造・発信等)
立地ポテンシャル、関西の豊かな都市文化、人々を惹きつける「みどり」の魅力を活かしながら、国際的な企業・産業活動等を誘致、展開

③知的人材育成 (例:連携大学・大学院、国際化教育等)
知の集積により世界をリードするグローバル人材を育成、輩出

なにわ筋線整備等で高まる拠点性を活かした
中核機能の導入で、関西の各都市との
連携、発展、交流を促進

関西の国際社会での存在感を新たなステージに
強力に引き上げる

イノベーションの創出

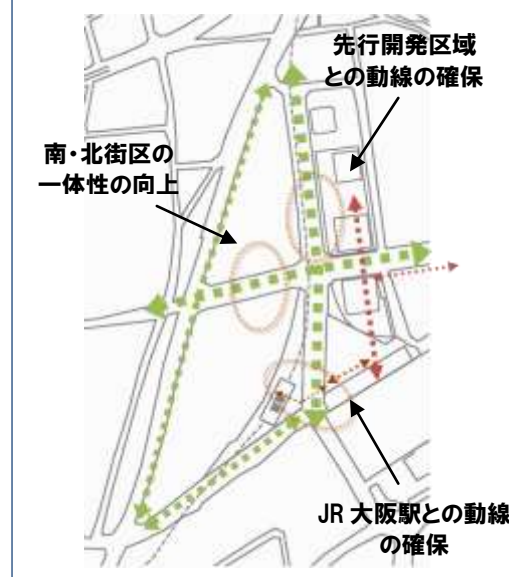
「みどり」と「イノベーション」の融合拠点



4. 「みどり」を体感できる空間づくり



5. 歩く楽しみ・喜びを創造するまちづくり～交通ネットワーク～



6. 速やかに災害から復元するまちづくり

- (1)大規模災害にも対応したレジリエントなまちの実現
- (2)自立型エネルギーインフラの導入
- (3)周辺地域も含めたBCPへの対応

7. 環境共生の新たな展開をめざしたまちづくり

- (1)最先端の環境技術の導入
- (2)災害時のBCP対応を兼ね備えた環境負荷の少ないエネルギーシステムの導入
- (3)環境価値の可視化と発信

8. 持続的発展をめざしたエリアマネジメント

- (1)質の高い「みどり」の運営管理
- (2)地区の競争力を高めるエリアマネジメント
- (3)可変性・拡張性を備えたエリアマネジメント

9. 周辺とともに地域全体の価値を向上させるまちづくり

- (1)隣接地区への「みどり」のまちづくりの波及
- (2)周辺地域や都市拠点と連携するまちづくり